第 513 回岡山地方最低賃金審議会議事録

- 1 日 時 令和 7 年 7 月 11 日（金曜日）午後 3 時 00 分～
- 2 場 所 岡山市北区下石井 1 - 4 - 1
岡山第 2 合同庁舎 2 階共用会議室 A B
- 3 出席者
公益代表委員	岡 山 一 郎
片 山 裕 之
佐々木 裕 子
西 田 和 弘
長谷川 珠 子
労働者代表委員	日下部 雅 淑
小 橋 政 次
高 山 伸 男
西 崎 知 佳
村 上 達 哉
使用者代表委員	石 黒 和 之
錦 織 勝 輝
西 谷 治 朗
事務局 岡山労働局長	森 實 久美子
賃 金 室 長	黒 田 和 美
賃 金 指 導 官	中 本 弘 一
監 察 監 督 官	諏 訪 雅 浩
労 災 補 償 監 察 官	木 村 弘 之

4 議 事

中本指導官 定刻となりましたので、ただ今から第 513 回岡山地方最低賃金審議会を開催いたします。本日の審議会は公開にて行います。

冒頭、お断りを 1 点申し上げます。

当局では、5 月 1 日から 10 月末までは、クールビズを励行しております。事務局等の服装に、ご理解をいただきますようお願いいたします。

第 58 期委員として初の審議会であり、会長が選任されるまでの間、司会進行を事務局で務めさせていただきます。

初めに委員のご紹介を致します。第 58 期委員の方におかれましては、本年度から 2 年の任期でございます。全 15 名の委員のうち 5 名が新任であり、公益代表の佐々木委員、西田委員、長谷川委員、労働者代表の日下部委員、使用者代表の佐野委員でございます。

なお、使用者代表の佐野委員については、本日はご都合が付かず欠席されております。

本日、ご出席いただいている新任の皆様には、就任のご挨拶をお願いできればと思います。

それでは、ご紹介した順番でご挨拶をお願いしたいと思います。佐々木委員、お願いします

佐々木委員 本年度より公益委員を務めさせていただきます佐々木と申します。皆様のお話をしっかりお伺いして真摯にこれからの審議に臨んでいきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

中本指導官 西田委員、お願いします。

西田委員 岡山大学の西田でございます。新任なのかという気がするんですが、お久しぶりの方も多くおられるなかで、今回もどうぞよろしくようお願いいたします。

中本指導官 長谷川委員、お願いします。

長谷川委員 皆さん、こんにちは。岡山大学の長谷川と申します。前は福島大学にいたんですが、福島県でも県の最賃の委員をやっております、今回 4 月から岡山大学に来まして、こちらでも最低賃金審議会の委員をさせていただくことになりました。地域によってどういった議論の違いがあるかということも、お伺いするのを非常に楽しみにしております。どうぞよろしく申し上げます。

中本指導官 日下部委員、お願いします。

日下部委員 ご紹介いただきましたU Aゼンセンの日下部と申します。今年度より新任ということで、まだまだ知らないことばかりですが、労働者の代表としてしっかり声を皆さんに伝えていけたらと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

中本指導官 ありがとうございます。
続きまして、先ほどご挨拶いただいた方々以外の委員の皆様をご紹介いたします。名前をお呼びしますので、着座したまま一礼をお願いします。

公益代表の片山委員でございます。

岡山委員でございます。

続きまして、労働者代表の西崎委員でございます。

小橋委員でございます。

高山委員でございます。

村上委員でございます。

続きまして、使用者代表の西谷委員でございます。

錦織委員でございます。

石黒委員でございます。

なお、使用者代表の鶴海委員については、本日ご都合がつかずに欠席されています。

続きまして事務局の職員をご紹介いたします。

岡山労働局長の森實でございます。

賃金室長の黒田でございます。

監察監督官の諏訪でございます。

監察官の木村でございます。

賃金調査員の神田でございます。

私は、賃金指導官の中本です。

なお、労働基準部長の政木につきましては、本日は都合がつかずに欠席しております。

どうぞ、よろしくお願ひいたします。

それでは、定足数についてご報告申し上げます。

本日は、使用者代表委員の鶴海委員及び佐野委員が欠席されておりまして、他の委員 13 名が出席されておりますので、最低賃金審議会令で規定されている定足数である 2/3 以上又は公労使各委員の 1/3 以上の出席の条件を満たしていることをご報告いたします。

それでは、本日ご審議いただく事項につきましてご説明します。

- 1 会長・会長代理の選任について
- 2 岡山地方最低賃金審議会の運営について

- 3 岡山県最低賃金の改正決定について（諮問）
- 4 特定最低賃金の改正決定の申出について
- 5 特定最低賃金の改正決定の必要性の有無について（諮問）
- 6 今後の審議日程について
- 7 その他

でございます。

議事に入る前に、岡山労働局長の森實から、ご挨拶を申し上げます。

森實局長

本日は委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、また、大変お暑い中、岡山地方最低賃金審議会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

中央におきましては、本日午後1時から開催された中央最低賃金審議会において、厚生労働大臣より本年度の地域別最低賃金額改定の目安について、調査審議を求める諮問が行われたところでございます。

本日の審議会は、令和7年度最初の地方最低賃金審議会となります。第58期の審議会としても初回ということになります。

最低賃金は労働者のセーフティネットとして、とりわけ、非正規雇用労働者にとっては労働条件の改善を図る施策として政府の中でも大変重要な政策として位置付けているところでございます。

委員の皆様方には、これからの審議においてご苦勞いただくことも多々あるかと存じますが、県内の実情を踏まえた丁寧なご審議をいただきますようお願い申し上げますとともに、円滑な審議・運営にご協力賜りますよう、よろしく願いいたします。

簡単ではございますが、私からの冒頭の挨拶とさせていただきます。

中本指導官

これより議事に移ります。室長よろしく申し上げます。

黒田室長

本審議会は、最低賃金法等関連法令及び岡山地方最低賃金審議会運営規程に基づき運営いたします。運営規程につきましては、お手元の資料No.5をご参照下さい。

それでは議題（1）に入らせていただきます。

第58期岡山地方最低賃金審議会委員につきましては、本年4月1日付け、また5月1日付で任命させていただいたところですが、会長及び会長代理の選任につきましては、最低賃金法第24条の規定に沿って、「公益を代表する委員のうちから選任」することになっております。また、これまで慣例として公益委員の互選により決定しております。本年もそのように選任することによりましてよろしいでしよ

方、また使用者側委員の方、そして調整いただいた事務局にお礼を申し上げます。大変有意義な視察となり、これから始まります最低賃金審議の参考となりました。ありがとうございました。

続いて、本年度の議事録の署名人を決めておきたいのですが、審議会運営規程第7条では「議事録には、会長及び会長の指名した委員2名が署名するものとする。」となっております。

労側と使側から各1名お願いしたいので、労側は西崎委員、使側は、西谷委員に署名人をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(同意する声あり)

西田会長 それでは、両委員には、よろしく申し上げます。

西田会長 それでは、議題（2）「岡山地方最低賃金審議会の運営について」、事務局から説明をお願いします。

黒田室長 2点ご説明させていただきます。

まず1点目は議事の公開についてです。

岡山地方最低賃金審議会の議事公開については、3月7日に開催された第512回岡山地方最低賃金審議会において、令和6年度より岡山県最低賃金の答申に対する異議の申し立てについて審議する審議会、異議審を公開としたことにより、すべての審議会について公労使の三者がそろう部分を公開としたこと。また、各審議会では従前同様、慎重かつ丁寧な審議が行われたことが確認されました。

議事の公開については、社会的関心の変化、情報公開の流れが進むなかで、中央最低賃金審議会目安小委員会においても令和5年度より公労使三者が揃う場面は公開として開催されています。

最低賃金については昨今国民の注目度も高くなっていることから、一層審議の透明性を高める観点から、当審議会においても現在部会長の判断により非公開として開催している第2回以降の専門部会の審議についても、本審議会同様に公労使三者が揃う場面では公開する方向が審議され、今年度より会議を公開として運営することが確認されています。

2点目は、公開された審議会の議事録の作成・公開についてです。前回の審議会では、新たに公開される専門部会の議事録の作成・公開について事務局で整理、検討し、審議会に報告することとされていました。

議事録につきましては、昨年度まで第2回以降の専門部会について非公開として開催されたことから、その議事概要については議事要旨を作成し、これを公開してきましたが、今年度より公労使三者が揃う場面は審議が公開となることから、専門部会においても議事録として公開することとします。

作成にあたりましては審議における個人情報の保護、個人・団体の権利利益の侵害等に十分配慮しつつ、議論の透明性の確保が図られるよう対応します。

いずれの審議会、専門部会においても議事録作成、公開まで時間を要することから、議事終了後はすみやかに議事要旨を公開、その後議事録の早期公開についても努力することとします。

西田会長 今年度委員の交代もございました。ただいま事務局から、議事の公開及び議事録の作成・公開について説明がありましたが、皆様から何か御意見などございますでしょうか。

(意見なし)

西田会長 ただいま事務局から報告のありました議事の公開、議事録の作成・公開ですが、今後の方針について特に異論がないようですので、事務局の報告のとおり運用することとします。

委員の皆さん、ご理解、ご承知おきいただきますようよろしくお願い致します。

西田会長 それでは、議題(3)の「岡山県最低賃金の改正決定(諮問)」についてです。事務局から説明をお願いします。

黒田室長 岡山県最低賃金の改正決定については労働局長の諮問ですので、諮問文を森實局長から会長へお渡しした後、私から諮問文を代読させていただきます。

(局長より会長へ諮問文手交)
(事務局より諮問文の写を各委員に配布)

黒田室長 では、諮問文を代読させていただきます。

(諮問文読み上げ)

黒田室長 この諮問について、森實局長から説明申し上げます。

森實局長

ただ今、岡山県最低賃金の改正決定の諮問をさせていただきました。

冒頭申し上げましたとおり、本日中央においても、福岡厚生労働大臣から中央最低賃金審議会に対して地域別最低賃金額改定の目安について調査審議を求める諮問が行われたところでございます。

最低賃金にかかる政府方針につきましては、「経済財政と改革の基本方針 2025」、いわゆる骨太の方針におきまして、「適切な価格転嫁と生産性向上支援により、影響を受ける中小企業・小規模事業者の賃上げを後押しし、2020年代に全国平均 1,500 円という高い目標の達成に向け、たゆまぬ努力を継続することとし、官民で最大限の取組を5年間で集中的に実施する。」とされているところです。

また同時に、最低賃金審議会に対して、「政府全体の取組等も踏まえ、法定3要素のデータに基づき議論いただく。」とされているところです。

さて、県内の雇用情勢をみますと、令和7年5月の有効求人倍率は1.48倍で、令和7年4月に比べ0.01ポイント低下したものの、依然として全国平均を上回っていることから、人手不足感が続いている状況です。

経済情勢をみますと、7月1日、日銀岡山支店から発表されました「岡山県金融経済月報」によりますと、概況として「県内景気は、一部に弱めの動きがみられるが、緩やかな回復が続いている。」とされております。

また、岡山財務事務所による6月12日発表の「法人企業景気予測調査」によれば、4月～6月の景況判断BSIはマイナス4.3%ポイントと「下降」超に転じているとしておりますが、7月～9月の先行き見通しは、プラス2.1%ポイントと「上昇」超に転じる見通しとなっております。

エネルギー価格や原材料費高騰の長期化、米国における関税措置など、今後どのように影響を及ぼすのか不透明な部分も多くありますが、委員の皆様におかれましては、県内の企業活動、物価の動向、労働者の実情等を十分踏まえた御審議をお願いいたします。

西田会長

ただ今、局長から今年度の改正決定の諮問がありましたが、皆さんから何かご意見ございますでしょうか。

(特に意見なし)

西田会長 それでは、労使委員の皆様におかれましては、諮問文の「経済財政運営と改革の基本方針 2025」などへの配意及び県内の企業活動と労働者の実情を十分踏まえて、改正決定に向けて調査審議を進めていくこととします。

次に、岡山県最低賃金の専門部会設置に関する事務手続きについて、事務局から説明してください。

黒田室長 規定によりまして、本日付けで専門部会の設置のための労使代表委員の推薦及び改正に係る意見聴取について公示することとします。

本年度も、できるだけ早い時期での効力発生予定に合わせて審議時間を確保したいと思えます。

従いまして、委員の推薦期限につきましては、7月29日（火）、意見書の提出期限につきましては、7月31日（木）としたいと思えます。

よろしくお願いいたします。

西田会長 ただ今の説明について、労使の皆さんご意見等ありますか。

（特に意見なし）

西田会長 次に、議題（4）「特定最低賃金の改正決定の申出」について、事務局から説明してください。

黒田室長 特定最低賃金の改正決定の申出につきましては、令和6年度に岡山県内に設定されております7業種全てについて6月末日までに申出書が提出されています。

提出された申出状況を資料に取りまとめておりますので説明いたします。

資料No.2をご覧ください。「令和7年度 特定最低賃金改正に関する申出一覧表」でございます。

平成25年度の第448回審議会において、特定最低賃金名を略称で取り扱う旨確認されておりますので、略称にて申し上げます。

岡山県耐火物製造業最低賃金

岡山県鉄鋼業最低賃金

岡山県一般機械器具製造業最低賃金

岡山県電気機械器具製造業最低賃金

岡山県自動車・同附属品製造業最低賃金

岡山県船舶製造・修理業、船用機関製造業最低賃金

岡山県各種商品小売業最低賃金

この7業種の最低賃金改正の申出がそれぞれなされております。
以上です。

西田会長 労働者側の委員の方、今の報告に間違いありませんか。

労側委員 間違いありません。

西田会長 それでは現行7業種の特定最低賃金について改正の申出があったことを当審議会として確認します。

西田会長 続きまして、議題(5)「特定最低賃金の改正決定の必要性の有無(諮問)」について、事務局から説明してください。

黒田室長 特定最低賃金の改正決定の必要性の有無につきましては、局長は、「申し出を受理し、その申し出が必要な要件を満たしている場合、原則として、当該決定等の必要性の有無について最低賃金法第15条第2項の規定により審議会に意見を求める。」とされています。

申出のあった7業種は、3業種が「労働協約ケース」、4業種が「公正競争ケース」となっており、それぞれの申出要件であります。「労働協約ケース」は、「当該労働協約が同種の基幹的労働者の概ね3分の1以上のものに適用されているもの」、「公正競争ケース」は、「同種の基幹的労働者の概ね3分の1以上の合意により行われた申出」と認められ、いずれも改正の申出要件を満たしていることから、「改正決定の必要性の有無」について、本審議会に諮問をさせていただくことといたしました。

労働局長による諮問ですので、諮問文を森實局長より会長へお渡しした後、私のほうで諮問文を代読させていただきます。

(局長より会長へ諮問文手交)
(諮問文の写しを各委員に配布)

黒田室長 諮問文を代読させていただきます。

(諮問文読み上げ)

黒田室長 それでは、この諮問について、森實局長から説明申し上げます。

森實局長 岡山県内の7業種の特定最低賃金につきましては、先ほど事務

局より説明しましたとおり、全業種から改正決定の申出があったこと、また申出の要件が具備されていたことから、「改正決定の必要性の有無について」の諮問をさせていただきました。

特定最低賃金につきましては、労使のイニシアティブ發揮により設定されるものであり、県内の各産業の実態を十分踏まえた丁寧で円滑な御審議を行っていただくことで、全会一致による結論が得られますよう、よろしくお願いたします。

西田会長 ただ今、労働局長から7業種の特定最低賃金について、「改正決定の必要性の有無」の諮問がありました。

この必要性の有無については、令和3年度以降、7業種の専門部会において、労使のイニシアティブのもと丁寧に審議してまいりました。今年度の審議方法については、次回審議会において、中賃の目安額が示された段階で検討したいと考えますが、いかがでしょうか。

(同意する声)

西田会長 それでは、次回審議会でもよろしくお願いいたします。

西田会長 議題(6)「今後の審議日程について」、事務局より説明して下さい。

黒田室長 審議日程について説明します。

目安額については、中央最低賃金審議会の目安小委員会において取りまとめられ、答申が行われるものですが、答申の時期は今のところ未定です。

答申を受けて次回の審議会を開催する予定ですが、時期が未定のため、今後の日程につきましては改めてご連絡させていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

西田会長 事務局から他に何かありますか。

黒田室長 2点、ご報告がございます。

6月18日、全国労働組合総連合中国ブロック協議会より「最低賃金の大幅引上げと全国一律最低賃金制実現を求める要請」の提出がございました。

また、6月12日付けで、岡山弁護士会より「最低賃金の大幅引上げを求める会長声明」が送付されています。いずれも回覧させていただきます。ご確認よろしくお願いいたします。

西田会長

回覧はまだ終わってありませんが、終了後に全員回覧するという
ことで進行させていただきます。

それでは、委員の皆様から他に何かありますでしょうか。
よろしいですか。

それでは、これで第 513 回岡山地方最低賃金審議会を終わります。

お疲れ様でございました。